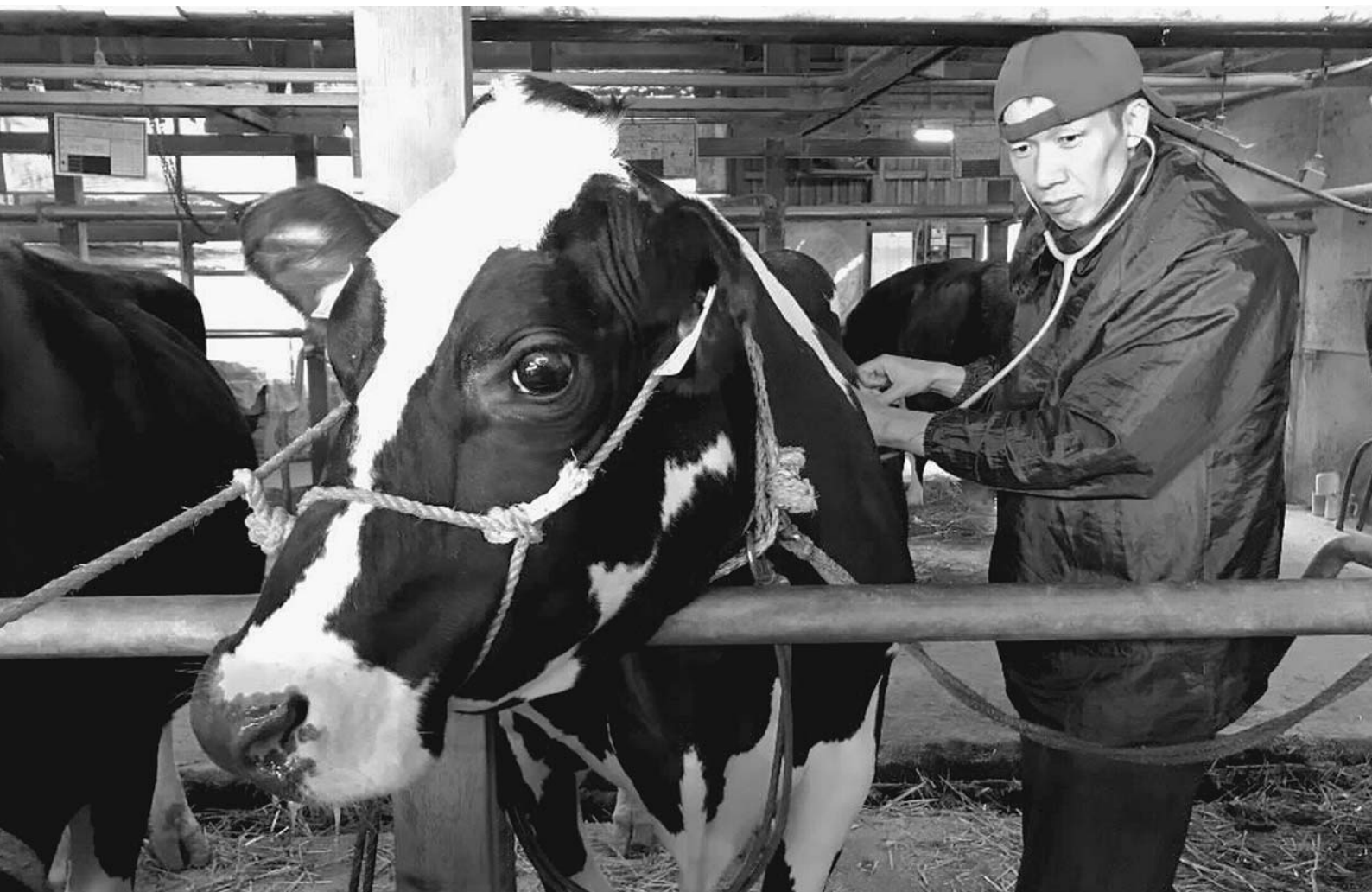




やまがた

No. 777

令和3年
(2021年)



動物たちの健康を守る 我が村の獣医さん

ひろ たか
森田 裕貴さん
(下竹田)

牛など大型動物を専門とする獣医が不足する近年、森田さんは村内外で牛の治療を行う若手の獣医です。4年前に他県から移住し、酪農家さんの困りごとや心配ごととじっくり向き合い、緊急時には夜間でも牛舎へ駆けつけてきました。「治療した牛が元気になった時や仔牛が無事に生まれた時、酪農家さんの力になれて、頼りにしてもらえることが嬉しい」と森田さん。

3児の父であり、子育てにも忙しいですが、地域の方たちとの繋がりに支えられ、ご家族と充実した日々を過ごしているそうです。

(12月26日 村内の牛舎にて)

働
姿



村長表敬訪問

12月21日(月)

全国高校サッカー選手権出場

松本国際高校 2年生

村瀬 蓮也さん(上竹田)

長野県大会で大活躍の蓮也さん。「勝ちにこだわりながらも、自分自身が全国レベルでどれだけ出来るかを試し、来年にも繋げたい」と意気込みを語ってくれました。12月31日に京都橘高校と対戦し、残念ながら敗れてしまいましたが、蓮也さんが全国の舞台でプレーする姿を見ることができました。



今後の活躍に大注目!! 彼らの熱き戦いが今始まる!!

12月25日(金)

信濃グランセローズ入団

山梨学院大学 4年生

森井 文哉さん(下大池)

山形村初のプロ野球選手となった文哉さん。不安を感じながらご家族を説得し、厳しい世界で戦うことを決意しました。「自分が活躍することによって後輩たちの刺激になり、村の野球人口増加に貢献出来たら嬉しいです」と熱い思いを話してくれました。



お二人の今後の活躍を応援しています。

告知板

令和3年度(2021年度) 4月1日(木)からの施設予約について

トレーニングセンター、ミラ・フード館、ふれあいドーム、テニスコート、小学校(体育館、グラウンド)の施設予約が、3月12日(金)から始まります。予約は希望日時の3ヶ月前より受け付けます。

- 窓口予約…午前8時30分から
※ミラ・フード館のみ午前9時から

●電話予約

- 3月12日(金)の対応
窓口での受付を優先するため、電話受付は午前11時から
- 3月13日(土)以降の対応
午前8時30分から受付
※ミラ・フード館のみ午前9時から

お問い合わせ
山形村教育委員会 ☎98-3155

年末特別警戒

12月26日(土)、ミラ・フード館にて、山形村消防団年末特別警戒激励式が行われました。

本庄村長、上條団長より「大変な中ですが、担当地区をしっかりと回ってもらい防火防犯の周知に力を注いでください」と激励を受け、巡回活動を始めました。

今年はお初式が新型コロナウイルス感染症の影響により中止になるなど思うようにいかない状況ですが、団員の皆



さんはくれぐれもご自愛され、有事の際は村民を守って頂きたいと思えます。

職員会 役新

1月7日(木)、ミラ・フード館にて、山形村役職員新年会が開催されました。毎年、村政に

携わる方々が参列し山形村の一層の躍進を祈念するために開催されていますが、今年は新型コロナウイルス感染症予防策として参列者の規模を縮小し、飲食を伴わ



ず行われました。

式典の中で功労者表彰が行われ、中村敏博さん(上大池)が受章されました。おめでとございます。



「産業振興功労」

農業委員会会長として3期9年の長きに亘り、尽力されました。これにより産業振興の発展に功績を残されたことに対し表彰されました。

山すそ

あけましておめでとございます。

皆さんはどんなお正月を過ごしましたか?私は、例年通り、年末から正月三

が日まで、夫と自分の実家にお世話になり、美味しい物を食べお酒を飲み、半年かけて3キロ減らした体重もたった4日間で元に戻っていました(笑)▼初詣は、さすがに大人数で行くのはちょっと…と言うことで、人数を4人に絞って行きました。

例年は駐車場に停めるのも大変だったのに、今年は近場に停められ、境内も人混み無しで参拝できました。お守りなどは、必要な物と数を紙に記入し、授与所で受け取るといった形で、「密」を避ける工夫が見られました▼今年届いた年賀状の中に、「会ってゆっくり話したいね」と添えられたものがありました。今はメールなど便利な手段があるけれど、私もやっぱり会って顔を見ながら話したいです。早く特効薬が出来て、以前のように気軽に友人と食事やおしゃべりが出来る生活に戻れば良いなと、つくづく思う新年の始まりでした。



令和3年 三九郎

今年新型コロナウイルスの影響でやむなく中止となってしまった地区もありますが、感染対策を徹底して正月飾りやだるまを集めて焼いた地区、芯棒に竹を使用するなど簡略化して三九郎を作成した地区がありました。

信州・未来のひとづくり塾

12月18日(金)、山形小学校5年生が信州・未来のひとづくり塾と題し、ものづくり体験を行いました。木曾漆器(銘々皿・スプーン)、印章彫刻の3講座に分かれ、熟練の技を見たり、その仕事に関わる話を聞くこともできました。伝統工芸という仕事や魅力について「初めて知った」「心をこめて物をつくる人になりたい」「心をとめて物をつくる人になりたい」など伝統工芸・仕事・自分の将来についても考える機会となりました。



やまっちマラソン大会

12月16日(木)、山形小学校5年生がやまっちマラソン大会を開催しました。体育の授業で、「自分に合ったペースについて考えよう」と課題を持って取り組み、まとめとして実施されました。自分のペースを意識し、目標タイムを持ってグラウンド4周(約1km)を走りました。ペースを考えて走ると苦しさは軽くなったと心で感じながら走れたようです。



やまのこ保育園 お楽しみ会

12月18日(金)、やまのこ保育園にて、お楽しみ会が行われました。『波田お話の会』がゲストとして登場し、馴染みのある絵本の物語を影絵やエプロン人形劇で読み聞かせてくれました。躍動感ある話しぶりに園児たちは真剣な表情で聞き入り、物語の世界を楽しんだようです。

その後は、各担任からクラス活動で使う大きな布や独楽などがプレゼントされ、この冬もたくさん遊べるのを楽しみにしている園児たちでした。



山形保育園 クリスマス会

12月24日(木)、山形保育園にて、クリスマス会が行われました。今年新型コロナウイルスの影響で3密を

防ぐため、年中組より下の園児たちはサンタさんに会うことができず、お昼寝の時間に園児の横にクリスマスプレゼントが届けられました。サンタさんから直接プレゼントを受け取った年長の皆さんからは「クリスマスの鐘」の素敵な歌のプレゼントをサンタさんへ贈りました。



山形保育園 餅つき大会

12月25日(金)、山形保育園にて、餅つき大会が行われました。大きな臼に熱々なもち米を入れて園児が交代しながら杵でつ

きます。『よいっしょよ!』と、周りの園児が応援しながらお正月に向けてお餅が出来上がりました。出来上がったお餅は、鏡餅として各クラスに飾られました。



ゆっくりコツコツ 進も〜!



山形村の丑年生まれ人口 令和3年(2021年)1月1日現在
役場住民課調べ 単位:人

生まれ年	年齢	男	女	計
大正14年(1925年)	96歳	4	12	16
昭和12年(1937年)	84歳	23	40	63
昭和24年(1949年)	72歳	72	93	165
昭和36年(1961年)	60歳	56	47	103
昭和48年(1973年)	48歳	70	87	157
昭和60年(1985年)	36歳	44	47	91
平成9年(1997年)	24歳	44	35	79
平成21年(2009年)	12歳	38	40	78
合計		351	401	752

昨年収束して欲しいと願った新型コロナウイルス感染症ですが、まだ収束の兆しは見えず今年も我慢の一年になりそうです。さて、毎年恒例になっている男女女の皆さんにアンケートをお願いしました。

こんな時だからこそ希望を持ちたいですね。

【質問】

- ① 今年の目標を漢字で表すとしたら？(理由も一緒に)
- ② コロナ禍が過ぎたら何がしたいですか？
- ③ 私or家族の自慢は？
- ④ 今年から始めてみたいものは何ですか？
- ⑤ 山形村の魅力発信するならば？
- ⑥ 今年は村長選があるかもしれせん。山形村や世の中に対して期待することは？

①『柔』 仕事で変化の有る年。新しいことにも柔軟に取組みたいから。

② カラオケで爆唱したい♪

③ お互いに尊重しあえる所

④ ガーデニング

⑤ 親しみ易くて、元氣のある村

⑥ 在宅ワークの環境整備を進めて、都市部からの移住を促す政策。長芋の対ウイルス効果をもつとアピールしたら良い。



上田 敏和さん
(上大池)

①『穏』 コロナ禍で生活や仕事など制限されることも多いですが、時間に追われることなく穏やかに過ごしたい。

② 佐渡に釣りに行きたい。

③ 夫の料理の腕が上がり、



堤 良子さん
(上大池)

レパートリーが増えた。

④ 吹奏楽、ピアノの発表会が中止になりサボり気味だった楽器の練習をしつかり始めたい。

⑤ 小さな村だが医療機関や商店などが揃い、生活しやすい。

⑥ 子どもからお年寄りまで、誰もが安心して暮らせる世の中になることを期待します。



中川 美咲さん
(小坂)

①『励』 何事にも励んでやりたいから

② 家族とドイツニーランドへ行きたいです。

③ 家族で励ましあっていること(去年おじいちゃんが亡くなったのでみんなが支え合っています)

④ ダンス

⑤ 自然がきれいなこと

⑥ 地域みんながもつと仲良くなれるような行事があったらいいと思います。

①『友』 今年小学校を卒業して、今の友だちとまた同じクラスになれるか分からないので、残りの3ヶ月でたくさん思い出を作りたいからです。また、中学に進学すると新しい出会いがあり、たくさん友だちを作りたいからです。

② 県外にいる、おじいちゃん、おばあちゃん、いとこに会いに行きたいです。

③ みんなよく食べることです。

④ 中学になると部活動があるので、何かに入部して部活動が始まるのが楽しみです。

⑤ 晴れた日の夜は、常に星が綺麗に見えることです。

⑥ 山形村は小さな村ですが、色んな山形村の良い所を発信して他県の人にも山形村のことを知ってもらいたいです。



安保 宗一郎さん
(中大池)



2021

丑年



古屋加代子さん
(小坂)

- ①『進』 コロナ禍で留まっていた去年、今年はWithコロナで対策しながら進みたい。
- ② 県外の友達との温泉旅行とUSJ(コロナ禍前に行く予定だったため)、夫婦でキャンプ&里山登山
- ③ ケンカもするが、笑いが絶えない。
- ④ 「刺し子」。チクチク、ちまちま作ることが好きですが、去年は時間が思うように取れず、お正月休みに始めました。
- ⑤ わくわくチケットや高校生まで医療費助成など、村の支援制度を他市村の方たちから羨ましがられます。
- ⑥ 周りより少し標高が高いため、景色が良い(横出ヶ崎信号から冬の北アルプスがとても綺麗)
- ⑦ Withコロナで地域を盛り上げて欲しい!! 難しい事だと思うが、このご時世だからこそ「地域共生の実現」を目指して欲しい。もちろん、出来ることは協力します。



中村 太一さん
(上竹田)

- ①『倍』 コロナがなくなったらという前提ではあるが、昨年何かと自粛した分まで今年は倍返ししたい。
- ② 子どもをデイズニーランドに連れて行きたい。
- ③ 尊敬できる両親、かわいい子どもたち、そして笑顔の素敵な奥さんが私の自慢です。
- ④ 3人目の準備
- ⑤ 多少のことなら「なから」でOK。
- ⑥ 何かとやりづらい世の中だが今後も山形村は山形村のままであってほしいと思う。



村上 香織さん
(下竹田)

- ①『福』 コロナ禍で生活に窮屈さを感じることもあられるけれど、ふとした瞬間にある福をいつも忘れな



倉科 高志さん
(下大池)

- ①『健』 コロナ禍なので、元気に過ごしたいから。
- ② 昨年は予定が中止になってしまったので、旅行がしたいです。
- ③ 娘です。バスケットの県選抜に選ばれました。
- ④ ダイエットです。
- ⑤ 長いものです。
- ⑥ 子育てがしやすい村になればいいですね。高齢化も目立つので、人口を増やさないといけないと思います。



- ② 旅行
- ③ 常に笑いが絶えないこと
- ④ ヨガ
- ⑤ 人がとーっても優しい!
- ⑥ 高齢者や子どもたちが生活しやすいように、公共交通機関をより整備して欲しい。

いように。

丑年年表

- 大正2年(1913年)
 - ・小坂信用購買生産組合「報徳会」設立
- 大正14年(1925年)
 - ・小学校増築校舎落成
- 昭和12年(1937年)
 - ・山形村郵便局が電話交換業務を開始
- 昭和24年(1949年)
 - ・学校調理室改造、給食開始
- 昭和36年(1961年)
 - ・山形村国民健康保険が村営化
- 昭和48年(1973年)
 - ・村内初の消防自動車を導入
- 開村100周年
- 昭和60年(1985年)
 - ・新潟県青海町と姉妹町村調印
- 役場庁舎建設開始
- 平成9年(1997年)
 - ・山形郵便局移転
- ふれあいドームオープン
- 平成21年(2009年)
 - ・信濃山形ロードレース最終大会
 - ・大仁田厚プロレス見参
 - ・トレセン体育館耐震工事
 - ・村内11番目の信号機(小坂)
 - ・山形村消防団下竹田分団創立100周年
- 清水高原文化交流施設の名称決定(あららぎの庄)
- 昭和初期の葬儀用具をふるさと伝承館へ寄託
- ・新型インフルエンザによるパндеミック発生
- ・コミュニティバス運行開始

丑年の一年、牛のようにゆつくりじつと耐え世の中をその目で見極めて、オール日本で乗り越えましょう。



コロナ禍でも十分な備えを

山形村消防団 団長 上條 仁司 (中大池)

今月の声

コロナ禍の世相を映すような厳冬の中、新しい年が始まりました。村民の皆様、殊に団員の御家族様におかれましては、平素より消防団活動に対し深い御理解と御支援を賜り心より感謝と御礼を申し上げます。

昨年は、消防団も新型コロナウイルス感染症に振り回される一年でした。春の総合訓練の中止、山形村を会場に開催される予定の松本消防協会ポンプ操法・ラッパ吹奏大会が中止になるなど、様々な活動に影響がありました。このような中でも消防団の役割を果たすべく、団員の協力を得て感染症対策を徹底し、やり方を工夫しながら秋の総合訓練や防火・防犯パトロール、機関・ラッパ訓練、消火設備の点検など行ってきました。また、水害警戒出動などもあり、その都度重要な判断が求められる厳しい年だったと感じています。更に新型コロナウイルス感染症が年末に近づくにつれ勢いを増し、松本市など周辺自治体でも感染者が急増する事態となりました。そんな折、松本市・塩尻市・安曇野市の各消防団が出初式を中止するとの一報が入り、急遽、

山形村消防団としての対応を協議し、村の判断を仰ぎ朝日村消防団と歩調を合わせ中止としました。それまで規模を縮小して開催する計画でしたが、更に感染者が増えることが予測される状況下、同じ生活圏の中で山形村だけが例外であるはずはなく、また無理に開催することが、コロナ禍で心労が多い団員や御家族の皆様への負担を増やすことになってはいけないとの思いから決断しました。輝かしい新年の門出である大事な出初式が中止となる異例の事態は、誠に残念であります。ご理解いただきますようお願い申し上げます。

今回のコロナ禍は、火災や地震などの災害とは違うようにも思えますが、教訓とすることも多いと実感しました。それは、いつ起こるか分からない災害に対し、常に十分な備えをしておくことや感染予防を意識することが大切のように、火事などを出さない予防消防が一番重要だと言うことです。

今年も、村民の期待に応えるべく頑張つて参ります。どうぞ宜しくお願い致します。



令和3年 新春初稽古・初練習



山形JVC (少女バレー)



空手クラブ



柔道クラブ 克己塾

寒さが厳しい中だつて、山つこは元気いっぱい！
楽しそうに今年の稽古や練習を始めました。



山形少年サッカークラブ



山形少年剣道クラブ



山形キヨミズ (少年野球)

今年も元気
いっぱい頑
張るモ～！



おめでた(子・親)
風
(敬称略)

- 青沼 菜白・ 充章・ 上竹田
- 藤澤 柊・ 啓貴・ 下竹田
- 中村 貞一・ 94歳・ 上大池
- 高山和歌子・ 97歳・ 下大池
- 沖津 英子・ 94歳・ 上竹田

おくやみ

空き家対策講座

12月17日(木)、村主催の空き家対策講座が保健福祉センターいちいの里で行われました。講師に司法書士の大出繁さんをお招きし、空き家の現状や相続対策についてお話しいただきました。近年増加傾向にある核家族化や住宅を相続しても空き家となる物件を利用する人がいないなどの理由で、長野県の空き家率は19%にも上り全国ワースト3位となっているそうです。

対策として管理不全に陥る前に、売却・賃貸借などの方法があるとのこと、詳しくは村企画振興課へお問い合わせいただくか、村公式ホームページ『山形村空き家バンク』に詳細が掲載されていますので、お困りの方はご覧ください。



詳しくは、村公式ホームページをチェック!!



天体写真教室

12月19日(土)、ミラ・フールド館の天体観測室にて、天体写真教室が行われました。

これは毎月2回行われている天体観測会の一環で、デジタルカメラを使って、星空を撮影してみようという企画です。はじめに

講師より撮影するための必要な設定の仕方、撮影の方法の説明を受け、「とにかく撮ってみる」ということで、さつそ



く屋外に出て撮影を行いました。この日の空は雲も多く、小雪も舞う天気でしたが、参加された方は寒さも忘れ、三脚に取り付けたカメラを夜空に向けて撮影を楽しんでいました。講師の方と一緒に設定



12月22日(火)、トレーニングセンターにて、今年で4回目となる『オレンジカフェコンサート』が行われました。『オレンジカフェ』は、認知症の方やそのご家族、認知症に関心がある方など誰もが語らえる地域の居場所として、毎月1回、いちいの里で開催されています。特別企画コンサートでは、毎回さまざまな楽器演奏を行っており、今年度は山形村役場職員の両角政寛さんがピアノでクリスマスソングや「なごり雪」など冬の曲を奏でてくれました。来場した23名は穏やかな表情でピアノの音色に耳を傾け、「来年も聴きに行きたい」という声も聞かれました。



みんなの人権 86

“恐れるべきは「ヒト」ではなく、「新型コロナウイルス」

～シトラスリボンは訴える～



◇師走に入った頃、所用でトレーニングセンターへ出かけました。玄関先で手指消毒をしながら、ふと見ると「シトラスリボン」がたくさん入った箱が目にとまりました。添えられた趣意書には「誰もが新型コロナウイルス感染症に感染するリスクがある。今、感染が確認された方や医療従事者の皆さんが、それぞれの暮らしの中で「たぐい」「おかえり」と言い合える、そんな村になれますように：シトラス色のリボンに想いを込めて、公民館関係者で作りました」と記されていました。この、愛媛県に端を発する「シトラスリボンプロジェクト」に呼応した運動は、山形村でも公民館関係者のみならず、高齢者のサロン、小学校などでも広がりをみせています。リボンの三つの輪は、「地域、家庭、学校・職場」を意味しています。◇同じ頃、山形小学校では、児童会保健委員会の子どもたちが、朝の児童集会で、自作の構成劇を通じて、多発する新型コロナウイルスに関連した差別や偏見を無くすための呼びかけをしていました。◇父親がコロナ流行地域に単身赴任している男児の軽い咳に敏感に反応してしまうクラスの仲間。家族がウイルスに感染してしまった児童に退院後も近づきたくないと言った級友たち。そんな子どもたちに、教師役の児童が「目に見えないウイルスにはどんなに気をつけていても、感染してしまうことはある。ましてや、その治療に当たる医療現場の人たちの心労は…」と訴える。子どもたちは徐々に『病気を正しく恐れ、感染防止に努めよう』『差別や偏見というウイルス』に感染しない学校にしよう』と気づく。そして、シトラスリボンをつけた子どもたちが、退院後保健室に登校してクラスに戻ることに不安に泣きじやくる児童を「お帰りなさい。待っていたよ」と迎えに行く場面で、構成劇は幕を閉じます。◇拡大する新型コロナウイルス感染症への恐怖の中で、これまでに経験したことのないような閉塞感や不安・ストレスに襲われる昨今。そんな、社会全体に漂う「酸欠状態の心」に、新鮮な風を送ってくれた山形小学校の子どもの訴えに、「世に巣くう様々な差別や偏見」からの解放の道筋を教えられたような「優の風景」のひとこまでした。

(令和3年1月 M・H記)

新春詠

山形村俳句クラブ

人生の今最高や帰り花

上條 忠昭

葱抜ぐや日差しの中に風の音

上條 治子

刈り田より藁焼くけむり垂直に

竹野入恒夫

モニターごしの母と面会吾亦紅

竹野入美奈子

茶の花のやうな媼ひと逝く朝まだき

鈴木まゆみ

長芋の蔓焼く煙り彼方此方に

青木 彌生

枯むくも律鉄条網のごと覆おほふ

武居 弘

余生とは小さき感動冬桜

武居香織留

子の担ぐ案山子虚空をまだ睨む

中村 貞子

ハンドベル流るる窓辺冬ぬくし

古畑 房子

積木する幼がこけて鎌鼬

大澤富久子

解体の庁舎に思ひ雪催

住吉 愛子

掘る力を返す力や枯芒

荻上 憲治

※山形村短歌会による短歌の掲載は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う活動休止のため掲載がありませんのでご了承ください。

本年もよろしくお願ひいたします

山形村公民館報 編集部一同



今号は777号

2021年最初の公民館報は777号。
日本では縁起がいい数字として親しまれる「7」が3つ並びました。なんとなく嬉しいですね♪。皆様にとってもハッピーな1年になりますように…

あけましておめでとうございませう。

本年も皆様に親しんでいただける誌面を目指し、12名のメンバーで公民館報を制作してまいります。本年もよろしくお願ひいたします。